

月 日	曜 日	内 容
3/ 3	月	同同前 及び Amonia pipe 修理復旧なる
4	火	Skiff Rudder 修理完了、漁艙清掃す
5	水	Skiff Boat の航走テスト実施
6	木	Amonia Charging 実施
7	金	本日休業
8	土	漁網整備及び冷凍機 Piston 及び Liner 損復す
9	日	甲板機械まわり、Grease up 施行、Amonia 積込み
10	月	M.F.W. にて仕込み打合せ、Amonia Charging 再開
11	火	Amonia Charging 続行
12	水	日本大使館表敬訪問す
13	木	M.F.W. にてトロール網 Cod の目合規制に備えての予備調査の件でミ-
1	金	テイング
14	金	本日休業
15	土	ブライン用塩船積みす
16	日	07:30 水産大臣訪船励激を受く、11:00 出航
17	月	アデン湾内西部海区で浮上群探索するも荒天の為、成果なし
18	火	クレータ沖泊中、Skiff 曳索を Propeller にまきつけ潜水作業す
19	水	Maqatin 東方より、北上しつゝ探索、夕方 Ras Kalb で ed
20	木	06:00 抜錨、13:00 Mukalla 入港、現地人 1 名病院へ(指のケガ)
21	金	12:20 Mukalla 発漁場へ、操業開始
22	土	本日 2 投網、漁獲約 6 トン
23	日	" 事故網 1 回、潮流やゝ強し、16:00 Mukalla 着
24	月	網修理及び Skiff 整備、漁獲物(イワシ)約 15 トン陸揚できず投棄
25	火	11:00 Mukalla 発、操業開始
26	水	本日 2 投網、漁獲 Poor
27	木	Ras Sharma 西方の湾岸 3 投網実施、好群多くも水深過少
28	金	同上海域で操業、事故網(破網) 1
29	土	02:00 Mukalla 入港、ミール工船へ 6 トン水揚、約 4 トンケネリーへ
30	日	07:00 より網修理、15:00 終了
31	月	補機クーラー清掃の上、16:00 出港、東航す

55年4月, 5月分

4/ 1	火	05:30 より Liyan 空港沖よりスタートし、本日 3 投網、約 2 トン漁獲
2	水	05:30 Hami 沖にて 3 投網するも事故網 2 回、漁僅少
3	木	05:30 Sharma 湾よりスタート 2 投網后、東航し、夕方 Palinurus 礁着

月 日	曜 日	内 容
4/ 4	金	Parinurus礁近辺探索するも Poor、ミニトロール曳網も併行
5	土	早朝 Sayhut 沖よりミニトロール、曳き乍ら北上、夕方 Sarawen 沖でアジ群へ旋網投網し、好漁す
6	日	冷凍処理待ちつゝ、Fartak 方面へ、Test Net 6 回実施
7	月	Fartak 沖 35 ~ 55 m の各水深でミニトロール行方、やゝ紋甲気配あり
8	火	Tabut 沖でミニトロール 2 投後、Ghaida 沖へ、水温低くカニばかり
9	水	本日旋網 2 回、潮流強烈で漁獲僅か
10	木	Fartak Darja 間、旋網 3 投網す、漁獲アジ約 3 トン
11	金	同上、位置で 3 投網、約 4 トン得るも冷凍能力弱く 2 トンのみ収容
12	土	Qishin から Sharawen に向け、ミニトロール 3 投、成果なし
13	日	Qusayar にて海洋観測後、18:30 Mukalla 港着
14	月	イワン調査員下船、若干の食料補給後出港、南下す
15	火	Ras Kalb にて海洋観測実施後、南下
16	水	Ras Irqua より Maqatin まで探索するも Poor、夕方海洋観測実施
17	木	朝 Maqatin 沖一投するも水色良く抜けらる、后西航しつゝ探索
18	金	05:30 より Aden 沖海洋観測し後、Ras Al Ara へ
19	土	早朝より海洋観測へ、終了後 Aden へ、18:30 港外着
20	日	08:00 Aden 入港、諸手続きす
21	月	水揚げ準備后待機す。政変あり、大統領交替?
22	火	水揚げ待機するも実施できず
23	水	Winch 修理しつゝ、水揚げ待機
24	木	旋網漁具解体しつゝ、 "
25	金	本日休業
26	土	本日より水揚げす。約 6 トン揚陸、#1 冷凍機故障す
27	日	左舷 2 番艙清掃后、グレーチング施行
28	月	" へ、旋網漁具収容
29	火	Fockcastle Deck へ旋網漁具の一部を積み付け
30	水	仮甲板解体、夜間水揚げす。アジ約 5 トン揚陸
5/ 1	木	本日メーデーにつき休業
2	金	本日休業
3	土	Purse Wire を抜きとり、左舷 2 番艙へ収納
4	日	Trawl の Warp (2400 m) 仮巻き込み、M.F.W. にて機関予備品購入の件打合せ
5	月	Warp の Marking を行い乍ら本巻き込みへ、夕方港外へ出て魚約 5 トン投棄
6	火	右舷一番艙清掃、Center Wire の新替へ

月 日	曜 日	内 容
5/ 1	水	旋網時の網置場材料陸揚げす
8	木	船長(私)作業指揮中誤って、甲板より艙内へ転落(落差約3.5メートル)X線とる為、病院へ
9	金	本日休業
10	土	滑車分解手入れ、Carton 作業用消耗品積み込み
11	日	M.F.W.にて機関予備品購入の件、再度打合せ
12	月	冷凍機油積み込み
13	火	賄用プロパンガスボンベ7本積み込み、漁場図作製へ
14	水	Trawl Netを甲板で展開、整備す
15	木	海洋観測器機整備手入れ
16	金	本日休業
17	土	Trwal用Wire(手網)Splice作り替え
18	日	同上及び冷凍機部品受領組立てへ
19	月	冷凍機試運転、手網完成
20	火	短期乗船のF.A.O.調査員と打合せ
21	水	Skiff Boat陸揚げ后、14:00出港、第3次航へ
22	木	Maqatin. Hisn Balio等で3操業行方も各部異常なし
23	金	第4州沖で操業するも漁獲の手応えなし
24	土	Loyal~Haml沖操業し乍らSharma方面へ
25	日	Sharma湾外で1操業后、Mukalla港へ、17:00同港発
26	月	Qishin湾沖で1操業するも皆無、F.A.O.調査員#53あけぼの丸へ転船
27	火	第6州沖で3操業后、Ghaida沖海洋観測実施
28	水	Ghida沖で操業3回、耗甲イカグロスで約1トン漁獲
29	木	同上付近、好調
30	金	Ghida沖本日2投、2回目は筋悪くカニばかり
31	土	本日3投、約1トン、#53あけぼの丸へ接舷、F.A.O.調査員受領

55年6月、7月分

6/ 1	日	Mukalla港向け続航、18:00同港入港、F.O.A.調査員下船
2	月	10:00より給水開始、17:00終了、天候不順の為係留
3	火	05:00出港、ライアン沖からシャルマ沖に向け訓練操業す
4	水	昨夜1人発病せし為、急ぎムカラ港へ入港、送院、午后訓練開始
5	木	早朝よりバリーヌーラス礁北方海区より操業に入りキン湾へ至る
6	金	キン湾岸よりスタートし、曳網しつつガイド沖に至る。同沖にて錨す
7	土	遂次北上しつつ訓練を行い、オマンとの国境付近に至る。漁獲良好

月 日	曜 日	内 容
6/ 8	日	昨日と同位置にて操業、漁獲良好で、製品処理に追わる
9	月	同位置にて1操業后、ガイダ方面へ南下す
10	火	早朝ニシトン湾沖合で1操業して後ファルタックにて海洋観測実施
11	水	セイフット沖1操業后、海洋観測実施、夜クサイアー沖で錨す
12	木	クサイアー沖海洋観測実施后、荒天の為ブルーム泊地へ
13	金	荒天の中、ラスカルブ海洋観測実施后マカチン沖へ向う
14	土	マカチン沖海洋観測后、アデン方面へ向首す
15	日	アデン沖海洋観測后、10:00 アデン港入港す。第3次航終了
16	月	各艙装ワイヤーの整備作業
17	火	漁具探知儀発信部木製保護カバー作製
18	水	海洋観測計器類固定架台の作製
19	木	トロール網コットエンドの修理
20	金	本日休業
21	土	燃油積込み及び清水タンクをクリーニングす
22	日	独立記念日なるに付き休業
23	月	08:30 より給水、13:00 出港、第4次航海へ
24	火	冷凍運般船(日本向け)幸徳丸と洋上荷役で先航漁獲物約14トン渡す
25	水	ハウラ沖3操業するも漁獲なし
26	木	ラスカルブ沖1操業后、海洋観測実施す
27	金	F.A.O. 調査員乗船さす為ムカラ港へ入港、待機す
28	土	ライアン空港沖よりシャルマ沖にかけ、訓練操業実施
29	日	セイフット沖曳網するも破網す
30	月	ガイダ沖よりオーマン国境付近迄操業訓練后、ガイダ沖で海洋観測
7/ 1	火	早朝よりニシトン沖で1操業后、荒天の中をキシソ湾へ
2	水	終日荒天の為、徐航
3	木	第53あけぼの丸と会合、F.A.O. 調査員転船さす。学生1名発熱
4	金	05:00 ムカラ着、発熱せる学生を送院す
5	土	ムカラ沖よりハシ沖操業するも漁獲なし
6	日	早朝幸徳丸と接舷、F.A.O. 調査員受領、ムカラ港へ
7	月	05:00 ムカラ港内より投網し、西へ曳く漁獲極良好、再入港(荒天)
8	火	昨日と同位置で2操業、成績良好なるもアデン入港命令受く
9	水	ハッスンバリド沖で2操業后、アデンへ直航
10	木	08:00 Aden 入港、第4次航終了
11	金	本日休業
12	土	甲板上の油圧管系のチェックを行う
13	日	甲板上艙装品の発錆部の手入れ

月 日	曜 日	内 容
7/14	月	油圧パイプギャロス、滑車の手入れ
15	火	同 上
16	水	ブルワーク、雑用ウインチの手入れ
17	木	ポートヘルスにてコレラの注射を受く
18	金	本日休業
19	土	鋼甲板手入れ
20	日	同 上
21	月	ソ連船#1475（約500G.T型船）に接舷、漁獲物転載す
22	火	水産資源省岸壁に接舷、ブルワーク、発錆部の手入れ
23	水	メインブームの手入れ
24	木	同 上
25	金	本日休業
26	土	デリックポスト基部の手入れ
27	日	同 上
28	月	同 上 及び油圧管の手入れ
29	火	同 上 ドックセーラー艀鋼甲板セメントはがし作業開始
30	水	水産大臣他、政府高官と会談
31	木	ブルワークの手入れ、ドックセーラーは上記続行

55年8月，9月分

8/ 1	金	本日休業
2	土	船体内舷発錆部手入れ
3	日	船尾ギャロス、滑車等の手入れ
4	月	ギャロス、雑用ウインチの発錆部手入れ
5	火	メインブーム錆打ち開始
6	水	同 上 及び錆止め塗装す
7	木	同 上 及び錆止めペイント二度塗り施行
8	金	本日休業
9	土	インナーブルワーク及び油圧パイプの手入れに着手
10	日	油圧パイプの手入れに着手、錆止め塗装も併行
11	月	上甲板内舷側油圧パイプの保護カバー取り外し、これが手入れに努む
12	火	ラマダン明けの為特別休日
13	水	資源省スティーマーポイント分室にてミーティング；本船のスケジュールについて
14	木	油圧パイプ、油圧ウインチの手入れ、錆止めペイント塗装

月 日	曜 日	内 容
8/15	金	本日休業
16	土	油圧パイプ、カーゴブームの手入れ及びペインティング
17	日	カーゴウインチ発錆部手入れ、錆止め塗装（右舷）
18	月	同 上 （左舷）
19	火	在庫品棚卸し開始
20	水	" 続行
21	木	棚卸し終了、リスト作製へ着手、油圧パイプ発錆部手入れ
22	金	本日休業なるも在庫品リスト作製に従事
23	土	上甲板内舷発錆部手入れ、ペイント塗装共、Manag. Mr. Ghadaf 渡米留学
24	日	ハッチカバーの発錆部手入れ（#1 艙）
25	月	同 上 （#2 艙）
26	火	同 上 （#2 及び 3 艙）
27	水	各艙口発錆部手入れ
28	木	" 及びペイント塗装
29	金	本日休業
30	土	09:00~10:40 本船サロンにて、新マネジャーMr. Hamady と打合せ
31	日	デリッキポスト基部発錆部手入れ及び錆止め塗装
9/ 1	月	艙口及び甲板囲りの発錆部手入れ、錆止めペイント塗装
2	火	清水にて船体及び艙装品のクリーニング施行、仕上塗装の準備に入る
3	水	ギャロス、インナーブルワーク（両舷）の仕上塗装施行
4	木	主ブーム、主ブーム用ウインチ及び主ブーム上の油圧配管の各塗装施行
5	金	本日休業
6	土	デリッキポスト、ウインチコントロールパネル等仕上塗装施行
7	日	パイロットハウス囲り及びハンドレール等仕上げ塗装施行
8	月	揚錨機、艙甲板等仕上塗装施行
9	火	甲板室囲り 2 度塗り施行
10	水	艙甲板ハンドレール、ウインドラス等仕上塗装施行
11	木	艙甲板上の配管類の塗装施行
12	金	本日休業
13	土	ドックヤード修理船岸壁より離岸、錨泊し、入渠準備に着手
14	日	入渠準備なし、待機（先に入渠中の漁船事故の為出渠できず）
15	月	ペインティングし乍ら入渠待機
16	火	10:00 入渠、直ちに船底清掃へ
17	水	Dock Yard 側の手に依る船底スクレーピング及び亜鉛板交換へ
18	木	A/C（防錆塗装）、A/F（防汚塗装）の各塗装
19	金	本日休業

月 日	曜 日	内 容
9/20	土	12:00 出渠、Dock Yard 修理岸壁へ着岸
21	日	コンパステッキ及び吃水線外板の仕上げ塗装
22	月	吃水線外板仕上げ塗装
23	火	船尾スリップウェイの仕上げ塗装
24	水	M.F.W. ストアに保管中の陸揚げ資材の転庫
25	木	同 上 及びスキフポートの試運転施行
26	金	本日休業
27	土	革命記念日の為、休業
28	日	旋網艀装への転装開始
29	月	旋網艀装への転装
30	火	同 上

55年10月, 11月, 12月分

10/ 1	水	旋網へ艀装換へ
2	木	Purse Wire の仮巻き
3	金	本日休業
4	土	旋網船付部網置場へ収容
5	日	中央部ジッパー接合し、全網地収容完
6	月	Purse Wire を Fix し、ブライン用塩積込む
7	火	清水及び食料の積込み
8	水	錨地変更、荒天準備をなす
9	木	08:00 出港、イムラン湾で碇泊し、ブライン水を作製す
10	金	ブライン水の冷却を急ぎ乍ら漁具整備に努む
11	土	旋網々地一部新替す
12	日	操業準備完了
13	月	早朝イムラン湾内にて試験操業実施、終了後、西部国境まで航す
14	火	北イニメンとの国境を起点として東へ浮上群の探索開始、シュクラ沖へ
15	水	シュクラ沖にて2投網し、ソーダカツオ約1トン漁獲
16	木	本日、ラスカルプ西方で2投網するも漁獲なし
17	金	本日やゝ荒天気味で続航しムカラ港へ、同港にて清水補給す
18	土	10:00 ムカラ港出港し東航す。荒天の為Heaving To とす
19	日	早朝より凧となり探索しつつ、ファルタック沖へ
20	月	ファルタックーダルジャ間念入りに探索するも気配なくガイダ沖へ北上す
21	火	早朝ニントン沖でイワシ群多く見るも大型魚の群なく再びダルジャへ小群へダルジャ・ファルタック間で4投す

月 日	曜 日	内 容
10/22	水	キシソ湾付近も群なし
23	木	ラス・イカブから西航し、バリヌラス礁間探索するも群なし
24	金	ムカラ方面へ向け続向中、小群へ2投網す
25	土	09:00 ムカラ入港、給水す
26	日	09:00 ムカラ出港、シェヘイル沖にて大アジの群に当り、投網約3トン
	月	漁獲
27	月	本日1投網するも失敗
28	火	約8トン製品(完全凍結)となったので、漁船ソフトす
29	水	乗組員1名発熱しムカラへ入港(07:00)、検診后11:30出港
30	木	南下し、カルブ沖より西方へ向首、3投網するも失敗、小群ばかり
31	金	ラス・イルカよりマカチン間探索するも群なく、午后刺網をセットす
11/ 1	土	05:00 刺網収容し、Adenへ急行(古川一等航海士発病、高熱下らず) 17:00 入港、入院さす
2	日	漁具整備、熱射病との診断で一航退院させらる
3	月	漁具整備、通船得られず上陸できず、船舶電話局の機械故障対陸電不可
4	火	漁獲物水揚げ、日本大使館へ業務報告及び一航病状報告
5	水	通船得られず上陸できず、漁船清掃
6	木	燃料、食料の積込みへ、Port Helthで健診受く、一航病状快復せず
7	金	本日休業
8	土	イスラム歴の正月に依り本日も休業、一航やゝ苦しい様子
9	日	ブライン垂用塩、消耗品の積込、一航再入院す
10	月	12:30 一航の後事に日魯事業所(所屬先)に託し、出港
11	火	シュクラ沖からラスイルカにかけ浮上群探索するも模様なし
12	水	早朝よりラスイルカを起点にムカラ沖まで探索するも群なし
13	木	ムカラ・シャルマ間で2回操業するも皆無
14	金	同上付近で本日も2回行うも漁獲小アジ0.5トンに終る
15	土	乗組員1名発病し、早朝ムカラへ入港、15:30 ムカラ出港
16	日	シャルマを起点として東航し、セイフット沖で好群にあい、投ずるも破網
17	月	網修理后、キシソ湾で1投網アジ約5トン漁獲
18	火	キシソ湾にて2投網行い、アジ約2.5トン漁獲
19	水	ダルジャ東方で1投網行いも破網す。私は頭部に負傷、ムカラへ急行
20	木	05:00 ムカラ港入港す。入院し、裂傷の縫合(3針)を受く
21	金	10:00 退院、漁獲物をソフトす
22	土	漁網の一部入れ替えを行った后、13:00 ムカラ出港、東航す
23	日	セイフット沖よりアタブ湾にかけアジの小群多く1投網し、約1トン獲す
24	月	ラスイカブ沖、2投網行いも Poor

月 日	曜 日	内 容
11/25	火	ラスイカブ沖付近で2投網行い、約16トン漁獲、アデンへ直航す
26	水	アデン向け続航
27	木	11:00 アデン入港、水産省へ入港報告す
28	金	本日休業
29	土	水揚げ準備をなす
30	日	漁獲物水揚げす
12/ 1	月	水揚げ作業続行す
2	火	水揚げ作業終了す。総揚げ量26トンと過去最高を記録す
3	水	給油、給水の上、13:00 出港、漁場へ向う
4	木	ムカラ訪門中の大臣命令に依り該港へ、21:30 入港碇泊す
5	金	イワシミールプロジェクトの件でミーティングあるも腹痛の為参加できず
6	土	09:00 ムカラ港出港、セイフット沖へ
7	日	セイフット沖、1投網行いも約4トンの漁獲
8	月	同上付近で本日も2投網約0.6トン后、夕方更に1投約23トン大漁す
9	火	凍結待ちの為碇泊す
10	水	同 上 漁具の一部整備す
11	木	同 上
12	金	凍結だったので製品をシフトし、夕方1投す、漁獲約2トン
13	土	本日1投網し漁獲10トン、満船したのでアデンへ向う
14	日	アデン向け続行す
15	月	17:00 アデン入港す
16	火	漁獲物水揚げ作業開始(サンブックに依る水揚げを行う)
17	水	水揚げ作業す(早朝魚市場へ接舷、低潮時底触せり)
18	木	同 上
19	金	本日休業、中国政府派遣の冷蔵庫技術者達と懇話会(於海員クラブ)
20	土	水揚げ作業実施す
21	日	同 上 水揚げ終了
22	月	漁船清掃作業実施
23	火	作業甲板の整理・清掃を実施
24	水	Experts 居住区、サロン等清掃、午後は帰国準備をなす
25	木	下船、通関手続す、通関後関係各方面へ帰国の挨拶す
26	金	本日休業
27	土	06:00 Al Yemeda 742 便にて出国、11:00 Abu Dhabi 着
28	日	09:30 Jal 466 便にて Abu Dhabi 発、東京へ
29	月	06:10 成田着、Jica は既に休みに入っている為、帰宅す

## 55年2月分

尾形純一

月日	曜日	内 容
2/1	金	13:40 LV.Tokyo
2	土	02:20 AY.Kuwait、03:00 LV.Kuwait、06:25 AY.Aden
3	日	乗船
4	月	№1 冷凍機、クランク室開放点検掃除、オイルタンク、油コン器点検掃除
5	火	№2 冷凍機、クランク室開放点検掃除、オイルタンク、油コン器点検掃除、エーヤコンデション、高圧パイプよりクレオン漏れ有り、取外パッキン交換
6	水	中間軸軸受、船尾管点検、軸受潤滑油交換、エーヤコンデション、パッキュームクレオン補給
7	木	主機過給機エーヤフィルタ掃除、各海水ポンプ、高圧計パイプ取外掃除
8	金	休日
9	土	燃料油積込、甲板部手伝
10	日	12:30 主機 Start、Aden 出港、冷凍機パイプエーヤ抜き、№1,2 冷凍機潤滑油交換、18:00 №1,2 冷凍機 Start、№1,2,4 漁倉冷却始め
11	月	07:20 主機 Start、海洋観測、№1,2 冷凍機運転中
12	火	02:26 主機 Stop、06:30 主機 Start、巻網操業準備中、海洋観測、№1,2 冷凍機運転中、22:06 主機 Stop
13	水	05:30 主機 Start、スキフポートバッテリー取付巻網操業準備中、海洋観測、№1,2 冷凍機運転中、22:20 主機 Stop
14	木	05:20 主機 Start、中間軸軸受潤滑油点検、№1,2 冷凍機運転中、18:20 主機 Stop
15	金	05:30 主機 Start、スキフポートテストの結果舵が作動せず使用不能、巻網操業中止、12:30 №1 冷凍機 Stop、14:30 主機 Stop、17:30 №2 冷凍機 Stop
16	土	11:55 主機 Start、08:10 №2 冷凍機 Start、巻網操業中止の為底繩に切替エサ積、20:05 №2 冷凍機 Stop、23:15 主機 Stop
17	日	05:40 主機 Start、08:15 №1 冷凍機 Start、№1 冷凍機潤滑油補給、主機各部点検状異無し、17:30 主機 Stop、23:00 №1 冷凍機 Stop
18	月	05:00 主機 Start、底繩操業、05:10 №1 冷凍機 Start、17:30 主機 Stop、操業終了、20:50 №1 冷凍機 Stop
19	火	05:30 主機 Start、底繩操業、06:10 №1 冷凍機 Start、17:16 主機 Stop、操業終了、18:50 №1 冷凍機 Stop
20	水	05:00 主機 Start、底繩操業、06:50 №1 冷凍機 Start、ラインホー

月 日	曜 日	内 容
20	水	ラ点検、潤滑油補給、17:00 主機 Stop、操業終了、19:20 №1 冷凍機 Stop
21	木	05:00 主機 Start、底縄操業、06:45 №1 冷凍機 Start、17:45 主機 Stop、操業終了、20:25 №1 冷凍機 Stop
22	金	04:50 主機 Start、底縄操業、06:10 №1 冷凍機 Start、15:30 漁業資源省の指示により漁場切上ムカラ向け航走、19:16 №1 冷凍機 Stop 22:30 ムカラ入港、22:45 主機 Stop
23	土	06:30 №1 冷凍機 Start、ミール工船より清水補給、12:30 主機 Start、国連漁業調査員乗船出港、冷凍機 Stop
24	日	07:10 №1 冷凍機 Start、国連漁業調査員をソ連トロール船に引き渡す。底縄操業、15:30 操業終了、主機 Stop、19:45 №1 冷凍機 Stop
25	月	04:00 冷凍機 Start、05:00 主機 Start、底縄操業、17:30 操業終了、主機 Stop、18:20 №1 冷凍機 Stop
26	火	04:50 主機 Start、底縄操業、1回で終了国連漁業調査員引き取りにソ連トロール船に向け航走、調査員引き取りムカラ向け航走、06:60 №1 冷凍機 Start、19:25 №1 冷凍機 Stop
27	水	04:30 №1 冷凍機 Start、05:10 ムカラ入港、主機 Stop、調査員下船、07:00 主機 Start、Aden 向け航走、18:50 №1 冷凍機 Stop、23:50 頃レンジャーパイプよりアンモニア漏れ有り応急措置アンモニア放出始め
28	木	アンモニア放出中、14:15 Aden 入港、冷凍機運転出来ぬ為荷役開始、15:30 終了、主機 Stop
29	金	現地人休日、ゲージパイプ修理の為アンモニア放出中

55年3月分

3/ 1	土	アンモニア放出中、主機燃料油コシ器掃除
2	日	アンモニア放出中、ビルヂボックス掃除
3	月	アンモニア放出終了、パイプ溶接修理其の上よりサクラコートで補強
4	火	コンデンサ及びレーシバ内エーヤ抜き、№1 冷凍機運転、パッキューム、アンモニア補給、造水器分解整備中
5	水	コンデンサ及びレーシバ内エーヤ抜き、№1 冷凍機運転、パッキューム
5		アンモニア補給、造水器熱交換器取外し掃除
6	木	アンモニア補給、アンモニア補給中№1 冷凍機異常音発する、テイスチャージバルブの切損及びピストルリングの破損と思われる
7	金	休日

月 日	曜 日	内 容
3/ 8	土	№1 冷凍機分解ピストンリングの膠着シリンダシリブのかじりの為使用不能、ピストンリングシリンダシリブ部品交換復旧運転異常無し
9	日	アンモニヤ補給、№1 補機潤滑油コシ器掃除、主機排出コック取外し掃除
10	月	主機燃料噴射弁取外掃除、圧力テスト圧力調整、№2 補機潤滑油コシ器掃除、潤滑油交換
11	火	主機、補機冷却水コシ器掃除、燃料油積込
12	水	アンモニヤ補給、主機潤滑油燃料油コシ器掃除
13	木	アンモニヤ補給、№2 補機冷却水、パイプフレンジより漏水有り液体パッキンにて修理
14	金	休日
15	土	ブライン製造用塩積込
16	日	10:06 №2 冷凍機 Start、11:06 主機 Start、Aden 出港、ブライン製造、16:50 №1 冷凍機 Start、ブライン冷却始め、21:00 主機 Stop
17	月	№1,2 冷凍機運転中、ブライン冷却中、06:00 主機 Start、18:00 主機 Stop
18	火	05:30 主機 Start、05:50 頃ペラ巻の為主機 Stop、08:10 主機 Start*航走
19	水	№1,2 冷凍機運転、ブライレ冷却中、18:20 主機 Stop
20	木	№1,2 冷凍機運転、ブライレ冷却中、05:30 主機 Start、13:15 主機 Stop、ムカラ入港
21	金	ブライン冷却中、12:30 主機 Start、Lo 補給、ムカラ出港、17:10 主機 Stop、19:00 頃№1 冷凍機異常音発生急停止原因わからず分解、№3 ピストン破損シリンダスリーブ切損
22	土	05:00 主機 Start、№2 冷凍機運転中、№1 冷凍機ピストンリング、シリンダスリーブ、コネクテングロット交換、14:25 №1 冷凍機 Start 異常無し、18:10 主機 Stop
23	日	05:50 主機 Start、巻網操業中スキフポート浸水、本船にて巻網、原因はクラッチ潤滑油冷却器の冷却水パイプの取付不完全、漁場切揚、17:00 主機 Stop、ムカラ入港、18:05 №1 冷凍機 Stop
24	月	スキフポートエンジン内の海水排出、整備点検、潤滑油交換、クラッチギヤオイル交換、スタツングモータ分解整備、18:00 №2 冷凍機 Stop
25	火	10:35 主機 Start、ムカラ出港、10:40 №2 冷凍機 Start、中間軸軸受潤滑油補給点検、18:00 主機 Stop
26	水	04:45 主機 Start、11:15 №1 冷凍機 Start、20:05 主機 Stop、22:00 №2 冷凍機 Stop、22:50 №1 冷凍機 Stop、造水器分解整備中
27	木	04:55 主機 Start、05:07 №2 冷凍機 Start、09:30 №2 Stop、

月 日	曜 日	内 容
3/27	木	09:35 №1 冷凍機 Start、21:10 主機 Stop、造水器熱交換器掃除、組立運転異常無し
28	金	05:00 主機 Start、18:30 №2 冷凍機 Start、№2 補機潤滑油冷却器取外し分解整備
29	土	03:35 主機 Stop、ムカラ入港、09:10 №2 冷凍機 Stop、№1 補機潤滑油冷却器取外し分解整備、17:00 №1 冷凍機 Stop
30	日	07:45 主機 Start、甲板部ウインチ使用、15:10 Stop、07:00 №1 冷凍機 Start
31	月	09:40 №1 冷凍機 Stop、補機冷却水冷却器分解掃除、15:10 №1 冷凍機 Start、15:15 №2 冷凍機 Start、15:20 主機 Start、ムカラ出港、18:15 主機 Stop

55年4月分

4/ 1	火	05:00 主機 Start、№1 冷凍機運転ライン冷却中、巻網操業、甲板部手伝い、17:25 主機 Stop、21:35 №2 冷凍機 Stop
2	水	05:30 主機 Start、№1 冷凍機運転中、17:30 主機 Stop
3	木	05:20 主機 Start、甲板部手伝い、18:05 主機 Stop、19:45 №1 冷凍機 Stop、19:50 №2 冷凍機 Start
4	金	05:30 主機 Start、06:25 №2 冷凍機 Stop、06:30 №1 冷凍機 Start、19:30 №1 冷凍機 Stop、19:55 主機 Stop
5	土	05:06 主機 Start、05:40 №1 冷凍機 Start、19:55 №2 冷凍機 Start、21:15 主機 Stop
6	日	06:20 主機 Start、№2 冷凍機運転中、18:25 主機 Stop
7	月	05:30 主機 Start、№1, 2 冷凍機運転中、21:15 主機 Stop
8	火	04:55 主機 Start、№1 冷凍機運転中、19:45 主機 Stop、21:10 №2 冷凍機 Stop
9	水	05:30 主機 Start、06:50 №2 冷凍機 Start、№1, 2 冷凍機運転中 18:40 主機 Stop
10	木	05:30 主機 Start、10:15 №2 冷凍機 Stop、ライン排出、空冷に切替え、18:30 主機 Stop、№1 冷凍機運転中
11	金	05:00 主機 Start、№1, 3, 4, 5 F/H 空気冷却中、18:20 主機 Stop №1 冷凍機運転中
12	土	06:00 主機 Start、№1, 2, 4, 5, F/H 空気冷却中、23:45 頃 №1 冷凍機冷却水パイプ切損漏水の為 №1 冷凍機 Stop、パイプ修理、0:30 主機 Stop

月 日	曜 日	内 容
4/13	日	冷凍機冷却水パイプ修理終了、02:00 №1 冷凍機 Start、05:05 主機 Start、19:15 ムカラ入港、主機 Stop
14	月	№1 冷凍機連続運転中、№1, 3, 4, 5, F/H 冷却中、12:15 主機 Start ムカラ出港、17:00 主機 Stop
15	火	05:20 主機 Start、№1 冷凍機連続運転中、19:00 主機 Stop
16	水	05:20 主機 Start、海洋観測、17:35 主機 Stop、20:10 №1 冷凍機 Stop
17	木	05:30 主機 Start、06:15 №1 冷凍機 Start、中間軸受軸点検、潤滑油補給、19:30 主機 Stop
18	金	05:50 主機 Start、エアコンデションコンデンサチューブ掃除、フロン補給、エヤコンデション冷却水ポンプ電動機焼損取外し、19:35 主機 Stop
19	土	05:50 主機 Start、甲板部作業ブルック上部にフロート取付、08:06 主機 Stop、21:15 造水器 Stop、№1 冷凍機運転中
20	日	06:36 主機 Start、08:30 Aden 入港、09:50 主機 Stop、20:35 №1 冷凍機 Stop
21	月	07:05 №1 冷凍機 Start、荷役待機、15:50 冷凍機 Stop
22	火	09:00 №1 冷凍機 Start、荷役待機、15:50 冷凍機 Stop
23	水	08:26 №1 冷凍機 Start、エヤコンデション冷却水ポンプ電動機修理の為ドック工場に陸揚、16:10 冷凍機 Stop
24	木	08:10 №1 冷凍機 Start、エヤコンデション冷却水ポンプインペラ、シャフト大リップ、ボールベヤリング交換、15:10 冷凍機 Stop
25	金	08:15 №1 冷凍機 Start、トロールラインククラッチ作動弁台修理取付、15:50 №1 冷凍機 Stop
26	土	08:20 冷凍機 Start、№1 補機潤滑油交換、潤滑油コン器掃除、15:40 冷凍機 Stop
27	日	09:30 №2 冷凍機 Start、№1 冷凍機分解整備、15:30 №2 冷凍機 Stop
28	月	№1 冷凍機、№1, 2 5 ピストンリングシリングシリブ使用不能(ピストン及びリング膠着シリングシリグ嚙有り)
29	火	№2 補機潤滑油交換、潤滑油コン器掃除、№1 冷凍機オイルストレイナ掃除
30	水	巻網よりトロール操業に切替の為甲板部手伝い

55年5月分

月 日	曜 日	内 容
5/ 1	木	メーデ、休日
2	金	休日
3	土	№1 冷凍機オイルストレイナ掃除、ピストン、リングコネクティングロット分解、整備組立
4	日	エーヤコンデション冷却水ポンプ取付
5	月	甲板部手伝い
6	火	№2 冷凍機分解整備
7	水	冷凍機ヘットカーバ掃除、コンデンサ分解、チューブ掃除中ドック作業
8	木	№1, 2 補機燃料噴射ポンプ及びガバナオイル交換、減速機潤滑油コン器掃除、ブラインポンプ取外し、ドック工場に陸揚整備、コンデンサチューブ掃除中
9	金	休日
10	土	ブラインポンプ整備終り取付テスト運転 コンデンサチューブ3本、アンモニヤ漏れ有り Stop Pers にて応急措置
12	日	№2 冷凍機内部掃除、潤滑油交換、コン器掃除、№1 冷凍機№3, 4, 6 ピストン及びシリブ取付
13	月	コンデンサチューブ掃除組立終り、冷却水ポンプ運転テスト異状無し、 №2 冷凍機テスト運転異状無し、№2 冷凍機冷却水船外弁取外し掃除
14	火	№2 冷凍機オイル交換、オイルストレイナ掃除、№1 冷凍機冷却水船外弁取外掃除
15	水	機関室掃除、中間軸軸受点検
16	木	休日
17	金	№1 冷凍機、№1, 2, 5 ピストン取付ヘットカーバ冷却水パイプ取付組立
18	土	№1 冷凍機組立終り、オイル交換テスト運転
19	日	№1 冷凍機テスト運転
20	月	燃料油積込、冷凍機ドレン抜き
21	火	10:00 №1 冷凍機 Start、13:10 主機 Start、14:00 Aden 出港、タービン油補給、22:50 №1 冷凍機 Stop
22	水	01:30 主機 Stop、05:45 主機 Start、トロール操業、07:35 №1 冷凍機 Start、19:30 №1 冷凍機 Stop
23	木	0:30 主機 Stop、05:25 主機 Start、トロール操業、06:55 №1 冷凍機 Start、19:30 №1 冷凍機 Stop、20:35 主機 Stop、主機№4 燃料油高圧管取付Oリング交換
24	金	05:10 主機 Start、06:30 №1 冷凍機 Start、Lo 補給、トロール

月 日	曜 日	内 容
5/24	土	操業、18:30 主機 Stop
25	日	05:16 主機 Start、15:30 ムカラ入港、15:45 主機 Stop、16:50 主機 Start、17:40 ムカラ出港、23:10 №1 冷凍機 Stop
26	月	08:10 №1 冷凍機 Start、18:36 №1 冷凍機 Stop、21:10 主機 Stop
27	火	04:15 主機 Start、04:50 №1 冷凍機 Start、Lo 補給、14:10 №2 冷凍機 Start、21:10 №2 冷凍機 Stop
28	水	04:50 主機 Start、トロール操業、09:15 №2 冷凍機 Start、17:50 主機 Stop、№1 冷凍機連続運転中、20:50 №2 冷凍機 Stop
29	木	04:05 主機 Start、トロール操業、08:45 №2 冷凍機 Start、17:50 主機 Stop、20:15 №2 冷凍機 Stop
30	金	06:30 主機 Start、トロール操業、11:10 №2 冷凍機 Start、18:20 主機 Stop、21:50 №2 冷凍機 Stop
31	土	05:05 主機 Start、トロール操業、09:20 №2 冷凍機 Start、№1 冷凍機連続運転中

55年6月分

6/1	日	ムカラ向け航走中、18:30 ムカラ入港、18:55 主機 Stop、19:55 №1 冷凍機 Stop
2	月	清水積込、№1 冷凍機冷凍機油交換、油コシ器掃除、09:30 №1 冷凍機 Start、アンモニア補給、19:10 №1 Stop
3	火	04:52 主機 Start、05:00 ムカラ出港、07:43 №1 冷凍機 Start 19:20 主機 Stop
4	水	00:30 主機 Start、急病人の為ムカラ向航走、06:30 ムカラ入港 07:30 出港、21:05 主機 Stop、21:50 №1 冷凍機 Stop
5	木	04:15 主機 Start、トロール操業、05:40 №1 冷凍機 Start、 09:00 №2 冷凍機 Start、19:00 主機 Stop、20:20 №2 冷凍機 Stop、№1 冷凍機連続運転中
6	金	04:15 主機 Start、トロール操業、№1 冷凍機運転中、19:00 主機 Stop
7	土	04:20 主機 Start、トロール操業、09:00 №2 冷凍機 Start、 19:05 主機 Stop、20:30 №2 冷凍機 Stop、中間軸軸受点検
8	日	04:45 主機 Start、トロール操業、08:40 №2 冷凍機 Start、№2 冷凍機潤滑油補給、21:10 №2 冷凍機 Stop、19:20 主機 Stop
9	月	04:40 主機 Start、トロール操業、11:10 №2 冷凍機 Start、トー

月 日	曜 日	内 容
6/ 9	月	<p>ロールインチワイヤーシフト立ローラ分解グリス注入、№2冷凍機S Stop、20:10 主機 Stop</p> <p>04:50 主機 Start、トロール操業、06:00 №2冷凍機 Start、 16:45 №2冷凍機 Stop、21:15 主機 Stop</p>
11	火	03:45 主機 Start、海洋観測、19:10 №1冷凍機 Stop
12	水	01:00 主機 Stop、05:00 主機 Start、海洋観測、06:00 №1冷凍 機 Start、18:30 №1冷凍機 Stop、20:10 主機 Stop
13	木	05:10 主機 Start、海洋観測、06:30 №1冷凍機 Stop、19:00 №1冷凍機 Stop、航走中
14	金	航走、06:30 №1冷凍機 Start、中間軸軸受点検、19:15 主機 Stop 19:20 №1冷凍機 Stop
15	土	04:00 主機 Start、海洋観測、06:00 №1冷凍機 Start、10:25 Aden入港、11:00 主機 Stop、13:30 №1冷凍機 Stop
16	日	冷凍機冷却水パイプ漏水有り、ラバータイプにて応急措置、08:30 №1冷凍機 Start、15:40 №1冷凍機 Stop
17	月	08:20 №1冷凍機、15:30 №1冷凍機 Stop
18	火	冷機ドレン抜き、09:10 №1冷凍機 Start、15:30 №1冷凍機 Stop
19	水	08:15 №1冷凍機 Start、№1発電機抵抗器配線切損の為電力高く配 線修理、15:30 №1冷凍機 Stop
20	木	休日
21	金	08:25 №1冷凍機 Start、主機潤滑油200ℓ交換、燃料油積込、 15:40 №1冷凍機 Stop
22	土	祭日の為休日
23	日	08:35 №1冷凍機 Start、清水積込、12:00 主機 Start、13:00 Aden出港、18:40 №1冷凍機 Stop、中間軸軸受、船尾管点検、軸受 潤滑油補給
24	月	05:00 №1冷凍機 Start、14:00 仲積船にて荷役開始、15:20 № 1冷凍機 Stop、15:25 №2冷凍機 Start、17:00 荷役終了、航走 19:20 主機 Stop、19:50 №2冷凍機 Stop
25	火	05:00 №2冷凍機 Start、05:30 主機 Start、トロール操業、 18:00 主機 Stop、18:00 №1冷凍機 Stop
26	水	05:00 主機 Start、航走、05:10 №1冷凍機 Start、18:00 №1冷 凍機 Stop、21:10 主機 Stop
27	木	05:06 主機 Start、07:10 №1冷凍機 Start、09:50 ムカラ入港、 主機 Stop、16:20 冷凍機 Stop
28	金	05:00 主機 Start、ムカラ出港、07:10 №1冷凍機 Start、トロール

月 日	曜 日	内 容
6/28	土	操業、18:10 №1 冷凍機 Stop、20:30 主機 Stop
29	日	05:00 主機 Start、エーヤコンプレッサ潤滑油補給、06:00 №1 冷凍機 Start、18:30 №1 冷凍機 Stop、18:20 主機 Stop
30	月	04:30 主機 Start、トロール操業及び海洋観測、06:00 №1 冷凍機 Start、18:55 主機 Stop、№1 補機潤滑油交換、22:30 №1 冷凍機 Stop

55年7月分

7/ 1	火	04:30 主機 Start、トロール操業、05:06 №1 冷凍機 Start、17:40 主機 Stop、18:15 №1 冷凍機 Stop
2	水	04:30 主機 Start、海洋観測、06:00 №1 冷凍機 Start、18:00 №1 冷凍機 Stop、航走中
3	木	ムカラ向け航走中、07:00 №1 冷凍機 Start、17:10 Stop
4	金	06:00 ムカラ入港、主機 Stop、07:00 №1 冷凍機 Start、№2 補機潤滑油交換、エーヤコンフーワングリス注入、17:25 №1 冷凍機 Stop
5	土	05:25 主機 Start、ムカラ出港、07:15 №1 冷凍機 Start、18:00 №1 冷凍機 Stop、造水器検温器分解点検
6	日	02:45 主機 Start、主機潤滑油コン器切替バルブグランドより油漏れ有り、グランドパッキン点検交換、06:00 主機 Start、07:00 №1 冷凍機 Start、12:30 ムカラ入港、主機 Stop、17:00 №1 冷凍機 Stop
7	月	05:15 主機 Start、ムカラ出港、トロール操業、06:50 №2 冷凍機 Start、10:30 ムカラ入港、主機 Stop、23:50 №2 冷凍機 Stop
8	火	05:35 主機 Start、ムカラ出港、トロール操業、06:15 №2 冷凍機 Start、エーヤコンデションフ里昂補充、20:45 №2 冷凍機 Stop
9	水	02:10 主機 Stop、05:30 主機 Start、Aden 向け航走、20:00 №1 冷凍機 Stop
10	木	01:30 Aden 港外投錨、主機 Stop、04:10 №1 冷凍機 Start、07:00 主機 Start、08:00 Aden 入港、主機 Stop、15:30 №1 冷凍機 Stop
11	金	休日
12	土	08:00 №1 冷凍機 Start、揚錨機補助ウインチグリス注入、15:30 №1 冷凍機 Stop
13	日	08:00 №1 冷凍機 Start、№2 補機分解整始め、15:30 №1 冷凍機 Stop

月 日	曜 日	内 容
7/14	月	08:00 №1 冷凍機 Start、№2 補機潤滑油、冷却器ヘットカーバ潤滑油コシ器取外、15:30 №1 冷凍機 Stop
15	火	08:10 №1 冷凍機 Start、№2 補機冷却水集合管取外、シリンダブロック防食鉛取外掃除点検取付、15:30 №1 冷凍機 Stop
16	水	08:10 №1 冷凍機 Start、燃料噴射弁圧力調整、シリンダカーバ分解掃除中、15:20 №1 冷凍機 Stop
17	木	08:05 №1 冷凍機 Start、シリンダヘットカーバ分解掃除、吸排気弁スリ合中、15:20 №2 冷凍機 Stop
18	金	休日
19	土	№2 補機吸排気弁スリ合せ
20	日	" 吸排気弁スリ合せ、各部パッキン作整
21	月	" 潤滑油冷却器掃除、パッキン作整
22	火	" 吸排気弁スリ合せ、潤滑油燃料油コシ器掃除
23	水	" 吸排気弁、始動弁、スリ合せ
24	木	" 吸排気弁スリ合せ
25	金	休日
26	土	№2 補機吸排気弁スリ合終り、組立始め
27	日	" ヘットカーバ吸排気弁始動弁組立取付
28	月	" バルブセッング潤滑油冷却器防食亜鉛交換
29	火	" 潤滑油冷却器取付燃料油高圧管取付、組立終り、テスト運転、15分間異常無し
30	水	№1 補機分解始め、ヘットカーバ取外、潤滑油冷却器外し
31	木	" ヘットカーバ分解各部点検

55年8月分

8/1	金	休日
2	土	№1 補機潤滑油冷却器分解掃除、点検組立、防食亜鉛交換
3	日	" 燃料噴射弁圧力調整、№3, 4, 5, ニードルバルブ交換、ヘットカーバ吸排気弁摺合
4	月	№1 補機吸排気弁摺合、始動弁摺合せ
5	火	" ヘットカーバ掃除、吸排気弁摺合せ終り、始動弁摺合せ終り、組立、取付
6	水	№1 補機ヘットカーバ取付締付、クランク室掃除点検、潤滑油入替、各部パッキン交換
7	木	№1 補機潤滑油冷却器潤滑油コシ器取付、冷却水及び潤滑油パイプ取付

月 日	曜 日	内 容
8/7	木	各部パッキン交換
8	金	休日
9	土	№1 補機整備組立終り、バルブセッティング、冷却水ポンプ整備中の為テスト運転出来ず
10	日	主機分解整備始め、吸排気管取外し、冷却水集合管取外し
11	月	休日 祭日の為
12	火	休日 祭日の為
13	水	主機吸排気弁レーバ始動空気集管取外し
14	木	＼ ヘットカーバ取外し
15	金	休日
16	土	主機ヘットカーバ分解掃除、部品調べ
17	日	＼ シリンダ及びピストン上部掃除、ヘットカーバ掃除、吸排気弁摺合せ
18	月	＼ 燃料油沈澱構分解掃除、コシ器取替、燃料噴射弁圧力調整、吸排気弁摺合せ、№5 ヘットカーバ出来上り
19	火	主機吸排気弁、始動弁摺合せ、№5 シリンダに№5 ベットカーバ取付
20	水	＼ 吸排気弁、始動弁摺合せ、№6 ベットカーバ出来上り、№6 ヘットカーバ取付
21	木	主機吸排気弁、始動弁摺合せ
22	金	休日
23	土	主機吸排気弁摺合せ、№2 ヘットカーバ出来上り、№2 ベットカーバ取付、始動弁摺合せ終り、排出コック分解整備
24	日	主機吸排気摺合せ、№4 ヘットカーバ出来上り、№4 ヘットカーバ取付、各部パッキン作整
25	月	主機吸排気弁摺合せ、№1 燃料コシ器ゴスワイヤ取替、№2 燃料コシ器分解掃除、№1 コシ器エーヤ抜きコック取替
26	火	主機吸排気弁摺合せ
27	水	＼ タービン及びガバナ油交換、吸排気弁摺合せ終り、№1,3 ベットカーバ取付
28	木	主機ベットカーバ締付、吸排気弁レーバ及びロット取付
29	金	休日
30	土	主機冷却水出入口集合管、空気分配管、排気管取付
31	日	バルブセッティング、燃料噴射突始角度点検、吸気管取付、クラレク室掃除、潤滑油入替

55年9月分

月 日	曜 日	内 容
9/ 1	月	主機組立終り、クランク室内掃除点検
2	火	主機クランク室内掃除点検、潤滑油入替
3	水	減速機潤滑油入替、主機テスト運転1回目5分間、2回目20分間、3回目60分間、合計1時間25分テスト運転
4	木	№1補機テスト運転約1時間30分、機関室掃除
5	金	休日
6	土	工具及び消耗品調べ、トロールウインチ作動油フィルタ掃除2ヶ
7	日	機関室ペンキ塗り、減速機潤滑油、冷却器分解点検掃除
8	月	機関室ペンキ塗り、減速機潤滑油、冷却器整備終り、取付
9	火	№1,2冷凍機テスト運転及びバッキューム可変ピッチテスト
10	水	機関室ペンキ塗り、ドック入渠待機
11	木	機関室ペンキ塗り、ドック入渠待機
12	金	休日
13	土	機関室ペンキ塗り、ドック入渠待機
14	日	ドック入渠待機、機関室ペンキ塗り
15	月	ドック入渠待機
16	火	ドック入渠
17	水	ドック入渠中船尾管及びプロペラ点検
18	木	吸排気弁注油、パイプより漏油有り修理
19	金	休日
20	土	ドック出渠
21	日	甲板部手伝い
22	月	甲板部手伝い
23	火	水中ポンプテスト
24	水	主機吸排気弁注油パイプ取付カリング切損の為漏油有り
25	木	主機吸排気弁注油パイプ取付カリング交換、主機 Start テスト異常無し
26	金	祭日の為休日
27	土	
28	日	主機 Start、甲板部トロールウインチ使用
29	月	主機 Start、甲板部トロールウインチ使用、スキフボートスタチンダモータ取外点検
30	火	甲板部手伝い、トロールウインチ使用

55年10月分

月 日	曜 日	内 容
10/ 1	水	フキフポートバッテリー及びタイナモ点検
2	木	甲板部手伝い
3	金	休日
4	土	残油量計測
5	日	エーヤコンデション冷却水ポンプ腐蝕破損不良部分ドック揚げ
6	月	ブライン用塩積込、フキフポート燃料積込
7	火	甲板部ハンドレール修理
8	水	燃料油積込、№2冷凍機Start
9	木	09:30 主機Start、Aden出港、ブライン造り、11:30 主機Stop 15:00 №2冷凍機Start、ブライン冷却始め
10	金	巻網操業準備中、ブライン冷却中
11	土	巻網操業準備中、ブライン冷却中
12	日	巻網操業準備中、ブライン冷却中
13	月	06:20 主機Start、巻網試験操業、ブライン冷却中、17:35 主機Stop
14	火	05:55 主機Start、魚群調査、21:40 主機Stop、№1,2冷凍機連続 運転中、ブライン冷却中
15	水	05:50 主機Start、魚群調査、17:40 主機Stop、ブライン冷却中
16	木	05:25 主機Start、魚群調査、20:25 主機Stop、ブライン冷却中
17	金	05:30 主機Start、11:10 ムカラ入港、主機Stop、造水器Stop、 №1,2冷凍機連続運転、ブライン冷却中
18	土	08:30 造水器Start、09:35 主機Start、ムカラ出港、ブライン冷却中
19	日	魚場向け航走中、主機最高圧力測定、17:45 主機Stop
20	月	05:05 主機Start、巻網操業開始、ブライン冷却中、17:30 操業終り 18:00 主機Stop
21	火	05:15 主機Start、巻網操業、№1,2冷凍機連続運転、ブライン冷却 中、22:10 操業終り、22:30 主機Stop
22	水	06:00 主機Start、巻網操業、№1,2補機燃料油漏れ有り修理、ブ ライン冷却中、19:00 操業終り、19:20 主機Stop
23	木	05:30 主機Start、巻網操業、№1,2冷凍機連続運転、ブライン冷却 中、19:30 操業終り、19:40 主機Stop
24	金	05:35 主機Start、巻網操業、20:00 操業終り、20:15 主機Stop、 ブライン冷却中
25	土	05:15 主機Start、07:50 ムカラ入港、08:00 主機Stop、清水積 込、№1,2冷凍機運転中
26	日	07:50 主機Start、ムカラ出港、巻網操業、№1,2冷凍機運転中、

月 日	曜 日	内 容
10/26	日	17:50 操業終了、18:05 主機 Stop
27	月	05:00 主機 Start、巻網操業、№1,2 冷凍機運転中、16:00 操業終了、16:20 主機 Stop
28	火	05:25 主機 Start、巻網操業、№1,2 冷凍機運転中、中間軸軸受点検潤滑油補給、19:00 操業終了、19:10 主機 Stop
29	水	05:50 主機 Start、現地人急病の為ムカラ向け航走、07:10 ムカラ入港、07:20 主機 Stop、№1,2 冷凍機運転中、11:30 主機 Start、ムカラ出港、21:10 主機 Stop
30	木	05:30 主機 Start、巻網操業、№1,2 冷凍機運転中、17:00 操業終了、17:15 主機 Stop
31	金	05:40 主機 Start、流網投網、№1,2 冷凍機運転中、16:00 主機 Stop

55年11月分

11/ 1	土	05:25 主機 Start、流網揚網、09:00 終、Aden 向け航走、15:30 №1 冷凍機 Stop、16:00 №2 冷凍機 Stop、16:30 Aden 入港、17:00 主機 Stop
2	日	07:30 №2 冷凍機 Start、荷役待機、15:10 №2 Stop
3	月	08:00 №2 冷凍機 Start、荷役待機、15:30 №2 Stop
4	火	08:00 №2 冷凍機 Start、№4 漁船掃除、ワイヤ整備、甲板部手伝い 14:30 №2 冷凍機 Stop
5	水	№1 漁船荷役、09:35 №1 冷凍機 Start、トロールウインチ点検、グリス注入、14:50 №1 冷凍機 Stop
6	木	08:00 №1 冷凍機 Start、主機、№1,2 補機潤滑油交換、燃料油、潤滑油コン器掃除、ビルチボックス掃除、燃料油積込
7	金	休日
8	土	出港準備中
9	日	清水及び食料積込
10	月	08:00 №1 冷凍機 Start、ブライン冷却始め、11:45 主機 Start、Aden 出港、15:15 №2 冷凍機 Start、19:20 主機 Stop
11	火	05:30 主機 Start、魚群調査、№1,2 冷凍機運転中、中間軸軸受オイル補給、19:35 主機 Stop
12	水	05:15 主機 Start、巻網操業、№1,2 運転中、19:30 操業終了、19:45 主機 Start
13	木	06:15 主機 Start、巻網操業、№1,2 冷凍機運転中、ビルチストレイ

月 日	曜 日	内 容
11/13	木	ナ掃除、操業終了、魚〇航走、20:55 主機 Stop
14	金	03:55 主機 Start、航走、操業ブライン冷却中操業終了、18:30 ムカラ入港、18:45 主機 Stop
15	土	№1,2 冷凍機運転中、15:00 主機 Start、ムカラ出港、21:15 主機 Stop
16	日	05:18 主機 Start、操業トロールウインチグリス注入、ブライン冷却中、漁網大破操業終了、17:15 主機 Stop
17	月	網修理、10:05 主機 Start、操業ブライン冷却中、19:30 操業終了、20:15 主機 Stop
18	火	05:16 主機 Start、操業ブライン冷却中、19:00 操業終了、19:20 主機 Stop、主機潤滑油、燃料油コシ器掃除
19	水	05:00 主機 Start、操業、10:10 頃船長頭に怪我の為、ムカラ向航走
20	木	05:30 ムカラ入港、05:45 主機 Stop、船長病院へ、清水積込、網修理
21	金	07:25 主機 Start、甲板部ウインチ使用の為、15:30 主機 Stop、№1,2 冷凍機運転中
22	土	№1,2 冷凍機運転中、12:50 主機 Start、ムカラ出港、魚群調査、19:45 主機 Stop
23	日	05:00 主機 Start、操業トロールウインチ作動ハンドル調整、ブライン冷却中、17:30 操業終了、19:50 主機 Stop
24	月	05:30 主機 Start、操業ブライン冷却中、エーヤコンデションエーヤ抜き、19:00 操業終了、19:30 主機 Stop
25	火	06:00 主機 Start、操業トロールウインチ作動ハンドルエーヤ抜き、ブライン冷却中、水揚げの為、Aden 向け航走
26	水	Aden 向け航走、№1,2 冷凍機運転中
27	木	10:45 Aden 入港、11:15 主機 Stop、№1,2 冷凍機運転中
28	金	市場前棧橋に接舷
29	土	水揚げ
30	日	水揚げ

55年12月分

12/ 1	月	漁艙洗い
2	火	ブラインポンプ点検整備、グラウンドパッキン交換、燃料油積込み
3	水	11:00 主機 Start、Aden 出港、№1,2 冷凍機運転中
4	木	20:30 ムカラ入港、20:45 主機 Stop、№1,2 冷凍機運転中

月 日	曜 日	内 容
12/ 5	金	ムカラ入港中、№ 1, 2 冷凍機運転中
6	土	08:30 主機 Start、ムカラ出港、№ 1, 2 冷凍機運転中、20:50 主機 Stop
7	日	05:50 主機 Start、操業 № 1, 2 冷凍機運転中、17:20 操業終了、17:35 主機 Stop
8	月	06:00 主機 Start、操業 № 1, 2 冷凍機運転中、22:00 操業終了、20:20 主機 Stop
9	火	№ 1, 2 冷凍機運転中、網修理、甲板部手伝い
10	水	" " "
11	木	" " "
12	金	網修理終了、15:20 主機 Start、操業 № 1, 2 冷凍機運転中、19:10 操業終了、19:30 主機 Stop
13	土	№ 1, 2 冷凍機運転中、14:50 主機 Start、操業 19:20 操業終了、19:40 主機 Stop (大漁に付明朝 Aden 向帰港予定)
14	日	03:45 主機 Start、Aden 向け航走、№ 1, 2 冷凍機運転中
15	月	造水器分解整備、17:00 Aden 入港、17:40 主機 Stop、№ 1, 2 冷凍機運転中
16	火	荷役待機中、№ 1, 2 冷凍機運転中
17	水	後より荷役
18	木	早朝より荷役
19	金	休日、現地人のみ、№ 2 補機潤滑油、燃料油コシ器掃除
20	土	荷役、№ 2 冷凍機冷却水船外弁取外し掃除
21	日	荷役、アンモニヤ補充、№ 1, 2 冷凍機オイルコシ器掃除、ドレン抜き
22	月	荷役終了、漁艙掃除、№ 1 補機潤滑油、燃料油コシ器掃除
23	火	主機燃料噴射弁圧力テスト調整、吸排気弁注油タンク掃除、オイル交換、主機潤滑油、燃料油コシ器掃除
24	水	J I C A 提出書類作整
25	木	下船
26	金	休日
27	土	06:00 Aden 発 Dy 742 11:00 Abuhabi 着
28	日	09:30 Abudhabi 発 JAL 466
29	月	06:00 東京着

55年2月, 3月分

古川義彦

月日	曜日	内容
2/ 1	金	成田出発、SK984便、マニラ、バンコック経由フェートにてKU-701便に乗替え
2	土	06:25 Aden到着。日本大使館及関係先へ挨拶廻り
3	日	乗船、業務を開始する
4	月	航海計器、甲板諸器具の点検
5	火	トロールウインチのグリースアップ、其の他漁撈機器の点検
6	水	ワイヤーロープ類の整備作業
7	木	旋網用漁具整備
8	金	休日
9	土	旋網漁具の点検整備、清水積込
10	日	食料、冷凍機油積込後アデン港出港、第一次航開始する
11	月	第一回海洋観測実施
12	火	第二回 "
13	水	魚群探索
14	木	第3回海洋観測実施
15	金	Mukalla 港入港
16	土	" 出港
17	日	底延縄操業訓練1回実施、第4回海洋観測実施
18	月	底延縄操業訓練4回実施、ハタ主体に約250Kgの漁獲
19	火	底延縄操業訓練4回実施、アラ、フェダイ等230Kgの漁獲
20	水	底延縄操業訓練4回実施、アラ、フェダイ等310Kgの漁獲
21	木	底延縄操業訓練4回実施、アラ主体に590Kgの漁獲
22	金	底延縄操業訓練2回実施、後ムカラ港向け航走22時過ぎ入港する
23	土	ムカラ出港、FAO調査員便乗、ソ連トロール船操業海域向け航走する
24	日	Fartak号(M.F.Wトロール船)と会合、便乗者渡す
25	月	底延縄操業4回実施、漁獲590Kg
26	火	底延縄操業訓練1回実施
27	水	ムカラ港入港、便乗者下船後、Aden 向け出港する
28	木	Aden 入港、第一次航終了する
29	金	休日
3/ 1	土	Skiff Boatの舵取装置修理の準備
2	日	銀行及食料購入の為上陸
3	月	トロール漁具の作製
4	火	魚艙清掃
5	水	右舷デリックのトッピツグワイヤー新替、Skiff トライアル

月 日	曜 日	内 容
3/ 6	木	アンモニア積込、甲板部整理
7	金	休日
8	土	甲板漁撈用機器具のグリースアップ
9	日	旋網操業の準備、チェーン、シャックル等の漁撈資材積込
10	月	食料積込
11	火	FO積込
12	水	FW積込
13	木	アンモニア、食料積込
14	金	休日
15	土	ブライン用塩積込、出港準備
16	日	Aden 出港、第2次航開始
17	月	海況悪く投網出来ず
18	火	魚群探索
19	水	"
20	木	ムカラ港入港、旋網操業訓練一回実施
21	金	ムカラ出港
22	土	旋網操業二回実施
23	日	" 三回実施、ムカラ入港
24	月	ムカラ港錨泊、Skiff 修理
25	火	旋網操業一回実施、ムカラ出港
26	水	" 一回実施
27	木	" 二回実施
28	金	" 三回実施
29	土	ムカラ入港、鰯水揚
30	日	ムカラ港碇泊
31	月	ムカラ港出港

55年4月、5月分

4/1	火	旋網操業訓練3回実施
2	水	" 3回実施
3	木	" 1回実施
4	金	" 2回実施
5	土	" 1回実施
6	日	Try Net 曳網、底魚の調査
7	月	海洋観測実施

月 日	曜 日	内 容
4/ 8	火	海洋観測実施
9	水	旋網操業訓練 2 回実施
10	木	" 3 回実施
11	金	" 4 回実施
12	土	海洋観測実施
13	日	" 午後 Mukalla 入港
14	月	Mukalla 出港
15	火	海洋観測実施
16	水	"
17	木	旋網操業訓練 1 回実施
18	金	海洋観測実施
19	土	"
20	日	Aden 入港、第 2 次航終了
21	月	トロール操業への換装
22	火	"
23	水	"
24	木	"
25	金	休日
26	土	荷役
27	日	Hold 清掃
28	月	トロール操業への換装
29	火	"
30	水	"
5/ 1	木	メーデー休日
2	金	休日
3	土	トロール操業への換装
4	日	"
5	月	"
6	火	"
7	水	"
8	木	"
9	金	休日
10	土	トロール漁具作製
11	日	"
12	月	"
13	火	"

月 日	曜 日	内 容
5/14	水	トロール漁具作製
15	木	"
16	金	休日
17	土	トロール漁具作製
18	日	"
19	月	"
20	火	"
21	水	Aden 出港、第3次航開始
22	木	トロール操業4回実施
23	金	" 3回実施
24	土	" 5回実施
25	日	" 1回実施
26	月	" 1回実施
27	火	" 4回実施
28	水	" 3回実施
29	木	" 3回実施
30	金	" 2回実施
31	土	" 3回実施

55年6月，7月分

6/ 1	日	Mukalla 港入港
2	月	Mukalla 港碇泊、清水補給す
3	火	Mukalla 港出港、トロール操業5回実施
4	水	トロール操業3回実施
5	木	" 3回実施
6	金	" 4回実施
7	土	" 5回実施
8	日	" 2回実施
9	月	" 2回実施
10	火	" 1回実施
11	水	" 1回実施
12	木	海洋観測実施
13	金	"
14	土	"
15	日	Aden 入港、第3次航終了

月 日	曜 日	内 容
6/16	月	トロール漁具整備
17	火	"
18	水	"
19	木	"
20	金	休日
21	土	食料、FO積込
22	日	現地祭日
23	月	Aden 出港、第4次航開始
24	火	幸徳丸接舷、洋上荷役実施
25	水	トロール操業3回実施
26	木	" 1回実施
27	金	ムカラ港入港
28	土	ムカラ港出港、トロール操業3回実施
29	日	トロール操業1回実施
30	月	" 2回実施
7/ 1	火	" 1回実施
2	水	航走中
3	木	"
4	金	Mukalla 入港
5	土	ムカラ港出港、トロール操業3回実施
6	日	幸徳丸より便乗者2名受取りムカラ港入港
7	月	トロール操業2回実施
8	火	" 1回実施
9	水	" 2回実施
10	木	Aden 入港、第4次航終了
11	金	休日
12	土	漁具作製(トロール網グランドロープ)
13	日	" ( " " )
14	月	" ( " " )
15	火	" ( " " )
16	水	" ( " " )
17	木	" ( " " )
18	金	休日
19	土	漁具作製(トロール網改造)
20	日	" ( " )
21	月	" ( " )

月 日	曜 日	内 容
7/22	火	漁具作製(トロール網改造)
23	水	" ( " )
24	木	" ( " )
25	金	休日
26	土	漁具作製(トロール網改造)
27	日	" ( " )
28	月	" ( " )
29	火	" ( " )
30	水	" ( " )
31	木	" ( " )

55年8月, 9月分

8/ 1	金	休日
2	土	トロール網仕立直し(新型へ切替)
3	日	"
4	月	"
5	火	"
6	水	"
7	木	"
8	金	休日
9	土	トロール網仕立直し(新型へ切替)
10	日	"
11	月	"
12	火	"
13	水	"
14	木	"
15	金	休日
16	土	甲板内舷部の発錆部のスクレピング及タックアップ Painting
17	日	" "
18	月	" "
19	火	" "
20	水	" "
21	木	" "
22	金	休日
23	土	甲板内舷部の発錆部のスクレピング及タックアップ Painting

月 日	曜 日	内 容
8/24	日	甲板内舷部の発錆部のスクレピング及タックアップ Painting
25	月	" "
26	火	" "
27	水	" "
28	木	" "
29	金	休日
30	土	甲板内舷部の発錆部のスクレピング及タックアップ Painting
31	日	" "
9/ 1	月	内舷部のオールペインティング(総塗り)
2	火	"
3	水	"
4	木	"
5	金	休日
6	土	内舷部のオールペインティング(総塗り)
7	日	"
8	月	"
9	火	"
10	水	"
11	木	"
12	金	休日
13	土	上架の為ドック岸壁より港内錨地へシフト
14	日	港内錨泊、上架待機
15	月	" "
16	火	( Chtional Dock Yards, Floating Dock ) 上架
17	水	上架諸作業
18	木	"
19	金	休日
20	土	下架、ドック岸壁に接岸
21	日	旋網操業への換装
22	月	"
23	火	"
24	水	"
25	木	"
26	金	休日
27	土	休日(現地祭日)
28	日	旋網操業への換装

月 日	曜 日	内 容
9/29 30	月 火	旋網操業への換装 "

55年2月分

篠原広信

月日	曜日	内 容
2/ 1	金	休業
2	土	帰任者出向え
3	日	エアコン点検
4	月	№1 冷凍機クランク室掃除
5	火	№2 冷凍機クランク室掃除
6	水	エアコン真空試験及び冷媒充填
7	木	エアコン試運転
8	金	休業
9	土	清水及び燃料油積み込み
10	日	アデン出港
11	月	海洋観測
12	火	"
13	水	"
14	木	スキップ点検
15	金	スキップ舵修理
16	土	ムカラ入港
17	日	延縄用えさ積み込み、14:00 ムカラ出港、延縄1回操業
18	月	延縄4回操業
19	火	" 4回操業
20	水	" 4回操業
21	木	" 4回操業
22	金	" 2回操業後、ムカラ向け
23	土	14:00 ムカラ出港
24	日	延縄1回操業、操舵装置、舵取器不良となり整備
25	月	" 4回操業
26	火	" 1回操業後、ムカラ向け
27	水	早朝ムカラ発、アデン向け
28	木	冷凍装置配管に亀裂を生じ、アンモニア漏洩の為冷媒放出
29	金	"

55年3月分

3/ 1	土	アンモニアパイプ破損の為ガス放出
2	日	"
3	月	放出終了、修理後ガス充填

月 日	曜 日	内 容
3/ 4	金	ガス充填
5	土	ガス充填、造水装置開放
6	日	造水装置組立て
7	月	休業
8	火	冷凍機開放整備
9	水	アンモニア充填、主機テストコック点検、整備
10	木	主機燃料噴射弁吹出しテスト
11	金	燃料油積込み
12	土	アンモニア充填、清水積込み
13	日	食料積込み
14	月	休業
15	火	ブライン用塩積込み
16	水	アデン出港、ブライン造り
17	木	調査するも風悪く魚群見えず
18	金	プロペラにロープ巻き込み取外す
19	土	スキップウライン製作
20	日	ムカラ入港
21	月	冷凍機開放整備、ムカラ出港
22	火	
23	水	旋網二回操業、ムカラ入港
24	木	スキップ整備
25	金	ムカラ出港、旋網一回操業
26	土	旋網二回操業
27	日	" 三回操業、第二発電機潤滑油冷却器掃除
28	月	" 三回操業、第一発電機 "
29	火	ムカラ入港
30	水	魚獲物水揚
31	木	補機清水冷却器掃除、ムカラ出港

55年4月, 5月分

4/ 1	金	旋網三回操業
2	土	" 三回操業
3	日	" 一回操業
4	月	" 二回操業、トロールテストネット二回操業
5	火	" 二回操業、 " 四回操業

月 日	曜 日	内 容
4/ 6	日	トロールテストネット六回操業、
7	月	" 四回操業、海洋観測
8	火	" 六回操業、 "
9	水	旋網二回操業
10	木	" 三回操業
11	金	" 四回操業
12	土	トロールテストネット三回操業、海洋観測
13	日	海洋観測、ムカラ入港
14	月	ムカラ出港、海洋観測
15	火	海洋観測
16	水	"
17	木	旋網一回操業
18	金	空調機付冷却器内掃除、空調機用冷却水ポンプ取外し
19	土	海洋観測
20	日	アデン入港
21	月	漁艙冷却
22	火	"
23	水	不良部品陸揚げ
24	木	漁艙冷却
25	金	ウインチ、ブレーキ用エアピストン復旧
26	土	発電機駆動源動機潤滑油新替
27	日	冷凍機点検
28	月	発電機駆動源動機潤滑油新替、冷凍機開放
29	火	№1 冷凍機開放
30	水	№1 冷凍機、内部掃除
5/ 1	木	メーデーの為休業
2	金	休業
3	土	冷凍機内部掃除( №1 )
4	日	空調機冷却水ポンプ復旧
5	月	漁艙掃除の為港外へ
6	火	冷凍機( №2 )開放点検
7	水	" 復旧、凝縮器開放
8	木	主機関付潤滑油、燃料油こし器掃除
9	金	休業
10	土	ブラインポンプ取付け
11	日	ブラインポンプ取外し及びパッキン交換のち復旧

月 日	曜 日	内 容
5/12	月	冷凍機( №2 )内部掃除、潤滑油新替
13	火	" 試運転后 "
14	水	" "
15	木	冷凍機( №1 )復旧
16	金	休業
17	土	冷凍機試運転
18	日	"
19	月	"
20	火	燃料油積込み
21	水	アデン出港、主機関最高圧力測定
22	木	トロール四回操業
23	金	" 三回操業
24	土	" 五回操業
25	日	" 一回操業、午後ムカラ入港、夕方ムカラ出港
26	月	" 一回操業
27	火	" 四回操業
28	水	" 三回操業
29	木	" 三回操業
30	金	" 二回操業
31	土	" 三回操業

55年6月分

6/ 1	日	ムカラ入港
2	月	清水積込み
3	火	ムカラ出港、トロール五回操業、造水器調整
4	水	トロール二回操業、一号冷凍機潤滑油補給
5	木	" 四回操業、エアータンク内ドレイン排除
6	金	" 四回操業、造水器造水量計測
7	土	" 五回操業、中間軸軸受点検、潤滑油補給
8	日	" 二回操業
9	月	" 二回操業、燃料移送ポンプコン器掃除
10	火	" 一回操業
11	水	" 一回操業
12	木	海洋観測、一号冷凍機潤滑油補給
13	金	" 船尾管冷却水ポンプゲージ点検

月 日	曜 日	内 容
6/14	土	海洋観測、ローズボックス掃除
15	日	アデン入港
16	月	漁艙冷却、残油量計測
17	火	一号冷凍機潤滑油補給
18	水	冷凍装置内ドレン抜き、一号発電機点検
19	木	一号発電機点検整備
20	金	休業
21	土	燃料油積込み、主機潤滑油新替
22	日	休業
23	月	清木積込み、出港
24	火	魚獲物運搬船へ転載
25	水	トロール三回操業、冷凍装置内冷媒回集
26	木	漁艙浸水、海水排除
27	金	荒天の為重量物整理
28	土	トロール三回操業、バッテリー点検、電解液補充
29	日	エアコンプレッサー潤滑油補給
30	月	トロール二回操業

55年7月分

7/ 1	火	トロール一回操業、燃料油タンク止め弁点検
2	水	エアコン、ファンモータ、グリース補給
3	木	中間軸受点検
4	金	二号発電機潤滑油新替
5	土	トロール三回操業
6	日	エアコン、ファンモーター、グリース補給
7	月	トロール一回操業、ローズボックス掃除
8	火	エアコン冷媒補充
9	水	バッテリー液補充、充電
10	木	アデン入港、残油量計測
11	金	休業
12	土	ウィンドラスグリース補給
13	日	二号発電機分解整備始め
14	月	" シリンダカバー及び潤滑油冷却器取外し
15	火	" ピストンヘッド及びライナ掃除
16	水	" シリンダカバー掃除

月 日	曜 日	内 容
7/17	木	二号発電機吸排気弁摺合せ
18	金	休業
19	土	二号発電機吸排気弁摺合せ
20	日	" 吸排気弁摺合せ、潤滑油冷却器掃除
21	月	" "
22	火	" "
23	水	" 始動弁摺合せ、潤滑油積込み
24	木	" 吸排気弁摺合せ
25	金	休業
26	土	二号発電機吸排気弁摺合せ
27	日	" 吸排気弁組立て
28	月	" シリンダカバー取付け
29	火	" その他取付け、復旧終了、試運転
30	水	一号発電機シリンダカバー取外し
31	木	" ピストンヘッド及びライナー掃除

55年8月，9月分

8/1	金	休業
2	土	一号発電機冷却水管及び潤滑油こし器掃除
3	日	消耗品在庫量調査、一号発電機燃料噴射弁試験
4	月	一号発電機吸排気弁摺合せ
5	火	" 始動弁摺合せ
6	水	" シリンダカバー取付け
7	木	" 燃料噴射弁、始動弁取付け
8	金	休業
9	土	一号発電機吸排気弁、弁隙間調整
10	日	主機開放準備、付属部及び吸排気集合管取外し
11	月	休業
12	火	休業
13	水	主機燃料噴射弁、始動弁、ロッカーアーム取外し
14	木	" シリンダカバー取外し
15	金	休業
16	土	主機シリンダカバー分解
17	日	" シリンダライナ並ピストン掃除
18	月	燃料油沈澱層掃除

月 日	曜 日	内 容
8/19	火	主機始動弁摺合せ
20	水	" "
21	木	" シリンダカバー掃除
22	金	休業
23	土	主機始動弁摺合せ、インジケータロック点検
24	日	" 吸排気弁摺合せ
25	月	" "
26	火	" "
27	水	" 過給器及び调速機用潤滑油交換
28	木	" シリンダカバー締付け、ロッカーアーム取付け
29	金	休業
30	土	主機吸排気集合管取付け
31	日	" 吸排気弁弁隙間調整
9/ 1	月	" クランク宿内掃除、潤滑油給油
2	火	機関室内各冷却水ポンプ運転テスト
3	水	主機試運転、減速機潤滑油交換
4	木	一号発電機試運転
5	金	休業
6	土	工具及び消耗品調査
7	日	減速機潤滑油冷却器チューブ掃除
8	月	" " 整備組立て
9	火	" 試運転、推進機試運転
10	水	スキップ電気系統点検
11	木	スキップ減速機潤滑油冷却器掃除
12	金	休業
13	土	スキップ異常音の為点検
14	日	ドックへ上架準備、スキップ点検
15	月	上架の為待機
16	火	ドックへ上架
17	水	主機潤滑油漏洩部有り、修理
18	木	機関室配管塗り別け
19	金	休業
20	土	ドックを下架
21	日	機関室配管塗り別け
22	月	水中ポンプ試運転、点検
23	火	機関室配管塗り分け

月 日	曜 日	内 容
9/24	水	スキップ点検
25	木	主機潤滑油漏洩部有り、修理
26	金	休業
27	土	休業
28	日	スキップ点検
29	月	"
30	火	配電盤点検

55年10月分

10/ 1	水	旋網用ステージ組立て
2	木	"
3	金	休業
4	土	燃料油残量計測
5	日	スキップ点検
6	月	ブライン用塩積込み
7	火	"
8	水	船首部ハンドレール修理、燃料油積込み
9	木	アデン出港、造水器整備
10	金	スキップ点検
11	土	甲板部作業手伝い
12	日	空気圧縮機潤滑油補給
13	月	イワシ網用網針作製
14	火	スキップ冷却水こし器改造
15	水	旋網二回操業、タモ網修理
16	木	"
17	金	冷凍装置電気温度計点検
18	土	油圧装置コントロール部空気抜き、動作部グリース注油
19	日	主機最高圧力測定
20	月	操舵機作動油点検補給
21	火	旋網四回操業
22	水	船尾管冷却水ポンプ点検
23	木	エアコン・ファンモーターグリース注油、騒音防止の為パッキン取付け
24	金	旋網二回操業
25	土	№4 燃料油タンク元バルブ点検
26	日	旋網一回操業

月 日	曜 日	内 容
10/27	月	旋網一回操業、配電盤点検
28	火	" スキッフ防絃材修理
29	水	イワシ網用網針作製
30	木	旋網三回操業
31	金	流し網準備、投網

55年11月分

11/ 1	土	アデン入港
2	日	残油量計測
3	月	荷役
4	火	"
5	水	漁船洗い
6	木	燃料油積込み
7	金	休業
8	土	発航前機関室点検
9	日	清水及びブライン用塩積込み
10	月	アデン出港、ブライン製造
11	火	造水器調整
12	水	充電器点検
13	木	旋網二回操業、主機冷却水ポンプ点検
14	金	"
15	土	漁網改造
16	日	旋網一回操業、網修理
17	月	網修理、旋網一回操業
18	火	旋網二回操業
19	水	" 一回操業、傷病人発生の為ムカラ港向け
20	木	ムカラ入港、網修理
21	金	漁獲物シフト、漁船洗い
22	土	ムカラ出港、ブライン製造補給
23	日	旋網一回操業
24	月	" 二回操業
25	火	" 二回操業、凍結都合によりアデン向け
26	水	ブラインポンプ、グラント部点検
27	木	アデン入港、残油量計測
28	金	スキッフ防絃材修理

月 日	曜 日	内 容
11/29	土	荷役
30	日	"

55年12月分

12/ 1	月	漁艙洗い
2	火	燃料油積込み、ブラインポンプ点検
3	水	アデン出港、ブライン製造
4	木	ムカラ入港、配電盤点検
5	金	清水積込み
6	土	ムカラ出港、ブラインポンプ整備
7	日	旋網一回操業、スキッフ点検
8	月	" 三回操業
9	火	凍結都合により操業を休み漁網整備
10	水	" ブラインポンプ点検
11	木	荷役用タモ網作製
12	金	凍結都合により漁獲物ソフト
13	土	旋網一回操業
14	日	帰航、船内掃除
15	月	造水器開放整備、アデン入港
16	火	残油量計測
17	水	荷役準備
18	木	荷役、エアコン点検
19	金	第二補機潤滑油こし器掃除
20	土	冷凍機、冷却水管開放掃除
21	日	荷役、漁艙洗い、冷凍機こし器掃除
22	月	漁艙洗い、冷凍装置内冷媒回集
23	火	主機燃料噴射弁吹出しテスト調整
24	水	冷凍装置内冷媒回集、機関室内整理
25	木	下船、関係省庁への挨拶回り
26	金	休日
27	土	帰国の為アデン発
28	日	旅行中
29	月	06:15 成田空港着

## 4. 感 想 文

J I C A 派遣事業部 御中

S.55. 12. 27

南イエメン漁業訓練船機関長

尾 形 純 一

J I C A 派遣の訓練船機関長として南イエメンに在任2 ヶ年 ( S.53 12. 28. - S.55. 12. 27 ) で感じました事を徒然になまゝに申し述べたいと思います。

私は、これ迄アフリカを始め南大平洋や中南米諸国の各地、いわゆる後進国と称される地域で漁業に従事して参りました。これは私が好んで後進国での従業に志願した訳では有ませんが、後進国と言う存在があるからこそ、そこに我々の働き場とも言うべき漁場がある訳で、これ迄受けた後進国からの恩の万分の一でもお返しできればと言うようなフランクな気持ちも少しは心の片すみに抱いて、当国に赴任致しました。又、私の職種柄これまで一諸に働いた上述の地域の現地人達の、特にメカに対する弱さと同一のものが当南イエメンの人々にも言えるのではないかと言う危惧の念を抱いての渡航でもありました。

そして、上述の危惧は、遺憾なくその実力を発揮しつつ私に迫って参りました。赴任後指導に当っては、技術のグレードの低いものから高いものへと移して行く訳ですが、グレードの低いうちは彼らもついてくるのですが、段々グレードを上げて行くに従い逃げを打つ姿勢が目立ち、漁船のエンジニアとして、その適性を疑わざるを得ない面が多々現れ、困惑させられました。

例えば、エンジンの操作について申しますと、エンジンの起動とか停止は現在では、極めて簡略に現地人だけでも出来る様に成っていますが、起動前の準備段階のチェックとか停止に致しましても、いきなり停止する訳ではなく順序正しい手順がありますし、又運転中の段階から得たデータで停止後エンジンのある部分をチェックするとか言ったエンジニアとして当然要求されるセンスをいくら注意しても身につけて呉れず、軽はずみに発停操作をくりかえすのみでした。

一般に彼らの性格として仕事を先へ先へと延す傾向があり、例えばエンジンの不調を予想できる様な徴候を事前に知り得たとしても、それが明瞭に具体的なトラブルとなって出てくるまで手を付けようとせず、エンジン事故の防止という点からも結果起きる事故の大きさから見ても無視できないものがあります。

又、上記の性格ともからんで自分から進んで仕事を見つけると言う態度が無い事も遺憾な事で、本船の様に G.T.250 トン、900 馬力のエンジンともなれば、主機そのものゝ他、付属せる機関類が多いのでやる気さえあれば、作業は際限無く在り、まぢめに2年もやれば一応の技術も身に付くのですが、積極的が無い為、自分達から機関整備作業についても、こうしたいとかこうするといった、一歩ふみだした提案が2年間遂に一度も聞かれなかったのは残念な事です。

エンジン部品の管理面でも欠点が目立ちます。本年度当初、全体的に前年度の欠点を補完しつつ狭くても良いから深くまで立ちいった指導をしようという我々サイドの申し合せもあり、これに則ってエンジニアに要求される管理能力の開発に付いて注力したのですが、長年慣れてきた怠惰な性格の修正はできませんでした。どうしても彼らには無くてもともとと言うアラブ人独特の考え方が根底にあり、これが全てに亘ってブレーキとなっています。しかし、一方では彼らの性

格的なものかどうかだろうと、エンジン部品は、ものすごい量でもあり、これがしっかり管理されてこそ、いざ鎌倉と言う時に役に立つ訳で能率の良い運航に欠くべからざる点である訳です。

最後にもう一つ挙げますと、彼らはどうしても仕事を最後までやり抜くと言う態度がなくやる事なす事、皆中途半端で投げ出す事です。従って嫌になるとさっさと止めてシャワーでもあびて休んでしまうといった職場放棄を常にやる訳で、怒りつけても“神のみ心のまゝに”と言うのみで此の点を徹底するとなるとアラの神と対決する覚悟が必要となってきます。

以上述べました諸点は、私が行ました国々の現地人にも見られましたし、極端な例を除けば日本人にだって見受けられる欠点です。唯問題なのは、本船で育った者は行く行は当国の水産業を担う人達でエースとしての道をあゆまねばならぬ運命にある訳です。彼らの奮起を望むあまりや彼らの欠点を強調し過ぎた感がありますが、何れも彼らに克服してもらいたい点であります。

人には適性があるのも事実ですが、私がこれまでに接して来た漁船のエンジニアの範囲内に限れば努力に依って適性を身につけた人が殆んどで、天才とか秀才の類の人は居りません。従って彼らも努力を怠らなければ相当の進歩はできる筈です。

当国では良いエンジニアの育成が焦眉の急と聞き及んでおりますが、先ずしっかりした教育方針の確立が重要です。現在当国の水産教育のメッカとして、トレーニングセンターがありますが、在学中の機関実習も少いし、又エンジニアとして育つには多過ぎる程の上述の様な欠点を是正する方向の教育が行なわれてない事は、おどろくべき事実として指摘できます。

従って、トレーニングセンター出身のカウンターパートと実地でたゞき上げてきた機関員を比較しても前者が多少ものを識っているだけでメンタルな面ともなれば、全く差が無く教育効果は疑問を生じます。又自国語(アラブ語)による教科書が無いのもおどろきです。

以上、極めて簡略でありましたが、私の日頃の感想を申し述べました次第です。又これを機会に2年間お世話になりましたJICAの皆様に厚くお礼申し上げます。

終　　り

私は、昨年11月27日より本年12月28日迄、イエメン民主人民共和国（南イエメン）の漁業訓練船 Ibin Magid 号へ乗船、漁業訓練（Skiff Boat 及び本船機関）指導に当って参りましたので、以下本件につき御報告申し上げます。

本船は、多目的訓練船の最先端を行く船で、発展途上国の訓練船としては、非常に適格なものであると考えられ、訓練業種もトロール、流し網、底刺網、延縄、底延縄、旋網等万能船で、私が当国へ赴任した時には既に3名（船長、機関長、一航）の Jica Team が日夜を分たぬ訓練に従事されており、私の着任を待って、旋網の操業訓練に入るところでした。

現在当国での旋網に関する事業としては、Mukalla 港にイワシのミール工船を季節運航（10月～5月）の型で備えておき、これに対し小型のイワシ旋網船（100G.T クラス）が漁獲したイワシをミール加工するプロジェクトがあり、日本の民間会社の技術協力で細々とはありますが、稼動しております。イワシは資源の再生産性も高い事から、当国の水産関係の行政のトップの方では本事業の将来に相当の期待を持っている様子です。

赴任間もない昨年12月早々より旋網の訓練に入りましたが、折りからの季節風の強吹に依る荒天の為、殆んど思う様な漁群の探索が出来ず、12月2日から23日に至る20日間の航海で、9操業しか出来ず漁獲も惨たるものでありました。

而して、12月26日より1月末まで上記 JICA Team 3名は休暇の為、一時帰国され、私は停泊中の機関整備や甲板機械類のメンテナンスの指導に当りました。この間、現地人の出勤率は新年をはさんでいろいろ行事もあった故か、非常に悪く成果は上がりませんでした。

越して本年、2月1日上記3名の帰任を見ましたので、引き続き旋網操業訓練に従事すべく、出漁準備をなし2月10日荒天について出港、漁群を求めて北上致しました。然るに Mukalla 港外に達した時、好群を発見し、投網に先立ち Skiff Boat の投下テストを行いましたところ、操舵装置に異常があり、操舵出来ない事が判明しました。原因は荒天に依るピッチングに依り、船体に若干歪が生じ、舵柱がたわんで了った様子で、Mukalla では修理が出来ず、急ぎ訓練業種が底延縄へと変更されました。

底延縄訓練は、Palinurus 礁で行われ、水深50～60mにセットした延縄に、宝石ハタやフエ鯛等可成り漁獲がありました。操業を続ける内 Aden より Skiff Boat の操舵装置の修理日程が通報され、2月28日急ぎ Aden に入港、ここに本年度第一次航海を終了致しました。

Skiff Boat の修理も終り、且つ当国水産大臣の訪船激励の後を受け、3月16日 Aden 港を出港、第五州沖にイワシを求めて北上し、3月22日より4月4日まで対イワシ群への操業訓練に従事し、此の間約30トン程漁獲しましたが、本船の場合やや船が大きすぎてイワシの好群の居る浅瀬まで進入する事が出来ず、漁獲はやや期待外れの感で終わりました。

かくて月令の関係でイワシ群の分散化傾向が出てきましたので、海洋観測も兼ね、更に北上し、

第六州沖にかけてアジの群の探索に入り○群乍ら群数にも恵まれ良好な条件での訓練が出来ました。アジの漁獲は製品で約20トンに達し、一応の評価を受けられると思います。

第三次、四次航海は、海況不良で旋網訓練には不適である為、トロール訓練様に装備を変更し出漁しました。トロールについての私の知識は訓練生と同様である為、機関部に於て製品の凍結、冷凍装置の効率の良い運転等について指導しました。

漁業訓練業種が多目的であると同様、冷凍保存設備と急速凍結、ブライン凍結、冷海水保存の三形態が有り、今回トロール訓練に於いては、急速凍結法を行ないました。

6月下旬より9月上旬にかけモンスーンの季節となり、海況、気候共に悪くなる為に、当初の予定より少し遅れましたが、7月10日Aden入港以後ドック期間とし、機関の整備、点検、漁具の整備等を行ないました。

機関部に於ては、航海中漁場滞在中よりも入港して機関を停止した後の方が作業が多く、技術修得のチャンスであり、カウンターパートと共に機関の整備をしなければなりません。出勤状態が非常悪く、訓練船の運航スケジュールを機関部の為に乱す事は出来ない為、止むを得ずドック側へ要請し作業を終えた次第であり、遺憾に思います。

第五次航海は、トロール訓練の予定でありましたが、市場に魚介類が不足している為、浮き魚を獲る様にとの水産大臣の要請により急ぎ旋網訓練形態に装備を変更し、10月9日漁群を求めて出港しました。

Mukalla港以東に於いて、小群乍ら群数に恵まれ、16回操業しましたが、病人発生の為11月1日Aden港に入港し、若干ながら漁獲物を有している為、荷役の後再度出漁することとなり、ここに第五次航海を終了する事となりました。

任期も50日余りとなり、短期航海を二回行うよりも長期航海を一回とし、漁場滞在日数を多くした方が良く、担当係員に荷役を急ぐ様催促し、11月10日漁場へ向け出港しました。

幸いにも、季節的に回遊して来るとされるアジの好群に遭遇し、本船の冷凍能力を上まわる漁獲が有り、漁獲物を劣化、変質させる事のない様急ぎ帰航し、11月27日Aden入港、荷役、補給の後、12月3日最終航海に向いました。

今回が最後である為、全てをカウンターパートに委せ出港しました。前回同様、好群に恵まれ操業2日の後、凍結都合により三昼夜操業を休み、漁網の整備とし、翌日の投網により満船となりましたので、帰航、12月15日Adenへ入港し、任期内に於る全ての訓練航海を終了しました。

旋網操業は78回、トロール操業74回(他にミニトロール操業26回)行れ、技術的な継承は、見た処極めて調子良く、漁撈作業は問題なさそうです。

一方、私が関係致しました機関作業については、現地人に依る作業は、粗雑すぎて機関の安全運転と言う見地からは遠く及ばないものを感じます。本件は部品のストア管理に始まり、機器具類の使用法、運転中の諸注意力、作業に対する創意性など、技術以前の問題が多々含まれております。

私は、これらの問題が、一朝一夕に解決出来ると楽観的には申しませんが、もう少し陸上での機関教育の場と言うものを増す必要があると思います。主機にしろ、補機にしろ、機関の原理と言うものは、そんなに変わる訳ではないので、陸上に施設された船用の諸機関を繰り返し繰り返し

オーバーホールさせれば、知識もつくし、練度も挙るは必定と思います。

最後に、彼ら自身が解決すべき問題として、一度び或る事柄について知識がつくと、唯それ丈で何も彼も判った様な気になり、或いは態度で示し、それ以後、それ丈で進歩が完全に止つて了うという事で、努力もしなければ応用も全く効かないと言う弱点を殆んど誰もが持っていて、メンタルな面でのこれが技術修得の大きな妨げとなっていると思います。

以上思いつくままに羅列致しましたが、これを以ちまして私の業務報告と致します。

敬 具





JICA